



## 2018年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月10日

上場会社名 株式会社MTG 上場取引所 東  
 コード番号 7806 URL <https://www.mtg.gr.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松下 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 渡邊 将人 TEL 052-307-7890  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年9月期第3四半期の連結業績 (2017年10月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第3四半期	43,499	—	7,051	—	7,389	—	4,779	—
2017年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2018年9月期第3四半期 4,767百万円 (—%) 2017年9月期第3四半期 -百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年9月期第3四半期	145.95	—
2017年9月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2017年9月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2017年9月期第3四半期の数値及び2018年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
 2. 2018年9月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、新株予約権の残高は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。  
 3. 当社は、2018年2月17日付で普通株式1株につき12株の割合で株式分割を行っております。期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年9月期第3四半期	45,841	21,177	46.2
2017年9月期	34,026	16,431	48.3

(参考) 自己資本 2018年9月期第3四半期 21,172百万円 2017年9月期 16,426百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年9月期	—	—	—	8.00	8.00
2018年9月期	—	0.00	—	—	—
2018年9月期 (予想)	—	—	—	1.61	1.61

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は、2018年2月17日付で普通株式1株につき12株の株式分割を行っております。2017年9月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

### 3. 2018年9月期の連結業績予想 (2017年10月1日～2018年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	32.4	7,547	30.4	8,021	31.1	5,500	27.7	161.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 5社 （社名）株式会社MTGメディカル、株式会社MTG modeliste、MTG UK CO. LTD.、MTG EUROPE B.V.、  
MTG FRANCE SAS

除外 一社 （社名）－

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2018年9月期3Q	33,600,000株	2017年9月期	33,600,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2018年9月期3Q	855,000株	2017年9月期	855,000株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2018年9月期3Q	32,745,000株	2017年9月期3Q	一株
------------	-------------	------------	----

(注) 1. 当社は、2018年2月17日付で普通株式1株につき12株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

2. 当社は、2017年9月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2017年9月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、海外では地政学的リスクが顕在化するなどの影響が見られました。

このような状況の中で、当社グループは「ブランド開発カンパニー」として「クリエイション」「テクノロジー」「ブランディング」「マーケティング」の4つの軸を融合した事業ビジョンに基づき、世界中の人々の人生をより美しく、より健康的に輝かせるためのBeauty・Wellnessをテーマにしたブランド及び商品の開発を行っており、積極的な新商品開発、マーケティング、当社技術の研究発表、市場開拓、海外展開及び事業提携を進めてまいりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

## ① グローバル事業

主な事業内容は、海外グループ会社ECサイト及び海外のインターネット通信販売事業者の運営するECサイトを通じた一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット通信販売事業者、海外の販売代理事業者、海外の美容専門店及び海外の百貨店運営事業者への卸売販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は15,016百万円、経常利益は2,714百万円となりました。

中国においては上海伊勢丹、杭州銀泰及び南京金鷹、シンガポールにおいてはCK TANGS、香港においてはThe Faces、韓国においては仁川空港及びロッテ百貨店に新店舗を出店し、グローバルトラベルリテール事業（海外空港の免税店への卸売販売事業）においては中国海南島の三亚鳳凰空港、グアム空港、シンガポールのチャンギ空港及び香港空港に新店舗を出店致しました。また、欧州展開の拠点として、2018年2月にSIXPADブランドのイギリス展開を目的にイギリスに連結子会社MTG UK CO. LTD. を設立し、2018年3月に欧州における子会社統括及び物流機能を持つ欧州統括会社としてオランダに連結子会社MTG EUROPE B. V. を設立し、さらに2018年6月にReFaブランド及びMDNA SKINブランドのフランス展開を目的にフランスに連結子会社MTG FRANCE SASを設立しております。

## ② リテールマーケティング事業

主な事業内容は、量販店運営事業者への卸売販売及びカタログ販売並びにテレビ通信販売事業者への卸売販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は9,014百万円、経常利益は2,776百万円となりました。

SIXPADブランドのIN SHOP事業（店舗の売場に、自社で独立した店舗形態の売場を設置し販売する形態）は、当第3四半期連結累計期間に20店舗の出店を行いました。また、既存店舗の運営及び接客を改善し、顧客満足の向上並びに店舗売上高が増加致しました。さらにカタログ販売やテレビの通販事業においては、多くの紙面枠及び放送枠の獲得に注力致しました。

## ③ ダイレクトマーケティング事業

主な事業内容は、当社及び他社ECサイトを通じた一般消費者への直接販売及びインターネット通信販売事業者への卸売販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は7,856百万円、経常利益は3,224百万円となりました。

ReFaブランド、MDNA SKINブランド及びStyleブランドでは、新商品の発売により売上高が好調に推移致しました。また、当社ECサイトが「YAHOO ショッピング Best Store Awards 2017」においてダイエット・健康部門で第1位を受賞し、「Wowma! BEST SHOP AWARD 2017」においてダイエット・健康カテゴリ賞を2年連続で受賞致しました。

## ④ ブランドストア事業

主な事業内容は、百貨店運営事業者並びに免税店運営事業者への卸売販売及び当社運営の小売店舗での対面販売を通じた一般消費者への直接販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は5,965百万円、経常利益は1,523百万円となりました。

ReFaブランド、MDNA SKINブランド、SIXPADブランド及びStyleブランドの4ブランドにおいて、百貨店19店舗、免税店2店舗、直営専門店7店舗の計28店舗を新規オープンし、当社商品のブランド価値を直接お客様に伝え、認知度の向上を図りました。

## ⑤ プロフェッショナル事業

主な事業内容は、美容サロン運営事業者への卸売販売、エステティックサロン運営事業者への卸売販売及びフィットネスクラブ運営事業者と提携している販売代理事業者への卸売販売、提携企業での職域販売（社員への直接販売）並びにフィットネスクラブでの一般消費者への直接販売となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は4,669百万円、経常利益は470百万円となりました。

2017年10月に札幌支店、2018年4月に金沢支店をオープンし、引き続き地域密着のサービスを展開し顧客満足度の向上を図りました。また、全国サロン商談会を2018年1月から3月において45回開催し、既存顧客への新事業提案により売上拡大に注力致しました。さらに、2017年10月の「ビューティーワールドジャパン 2017 ジャパンウェスト」及び2018年2月の「ビューティーワールドジャパン福岡」に出展し、新規サロン開拓(契約)と当社の認知度のさらなる向上を図りました。

#### ⑥その他事業

主な事業内容は、ウォーターサーバー事業、中古自動車販売事業、スマートリング(近距離無線通信を搭載した指に装着するリング)の製造販売を行うIoT事業及びOEM事業となります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は977百万円、経常損失は1,220百万円となりました。

ウォーターサーバー事業においては、2017年10月に「ロフト名古屋」、2017年11月に「プライムツリー赤池」、2017年12月に「グランツリー武蔵小杉」でKiralabブランドの直営専門店舗をオープン致しました。また、2018年4月に東京拠点を開設し、さらに関西においても多数の展示会に出展し家族客を中心にKiralabブランドの認知度向上を図り販売エリアを拡大致しました。なお、2018年3月をもって2WAY(ウォーターボトルを採用し、空きボトルを回収する)モデルを終了致しました。

これらのセグメントで取り扱っている主なブランド及び商品は、次のとおりです。

#### (ReFaブランド)

2017年11月に新商品「ReFa HOT CLEANSE CL」、2018年2月に新商品「ReFa MOISTURE SOAP CL」及び新商品「ReFa MOISTURE SERUM CL」、2018年5月に新商品「ReFa CAXA RAY」を全国の百貨店及び当社ECサイトにて発売致しました。また、2017年12月に「ルミネ横浜」、2018年3月に「日比谷シャンテ」でReFaブランドの直営専門店舗をオープン致しました。海外においては、2018年5月に新たなブランドアンバサダーに中国の女優である范冰冰(ファン・ビンビン)氏を起用することで、アジア地域でのさらなる認知度向上を図りました。また、2018年6月に、フランス展開の本格化を目的に連結子会社MTG FRANCE SASを設立致しました。

#### (MDNA SKINブランド)

2017年10月に復活草のエキスをを使用した新商品「THE REINVENTION CREAM」、2017年11月に炭素の遠赤外線に着目した美容ローラー「ONYX BLACK」を全国のMDNA SKINカウンター及び当社ECサイトにて発売致しました。2018年3月に米国のBarneys New York Beverly Hills店にてマドンナ氏とのイベントを開催致しました。YouTube Studio主催のイベントにおいて、マドンナ氏とキム・カーダシアン氏とのコラボイベントも開催致しました。また、中国においては、百貨店カウンターを続々オープンし、2018年3月には「上海伊勢丹」、「杭州銀泰」及び「南京金鷹」にそれぞれ出店を致しました。さらに2018年6月にフランス展開の本格化を目的に連結子会社MTG FRANCE SASを設立致しました。

#### (SIXPADブランド)

2017年11月に「プライムツリー赤池」、2017年12月に「グランツリー武蔵小杉」でSIXPADブランドの直営専門店舗をオープン致しました。また、新たにアスリートサポートパートナーとして、プロボクシングの元6階級制覇王者で、フィリピンの上院議員でもあるマニー・パッキャオ選手と契約を締結致しました。さらに2018年3月に国内2号店となる旗艦店「SIXPAD STORE TOKYO MIDTOWN HIBIYA」を大型複合施設「東京ミッドタウン日比谷」内に出店致しました。

海外においては、2017年11月に中国上海の「上海METRO CITY」にて、SIXPADブランドの中国初の旗艦店「SIXPAD STORE 上海メトロシティ」をオープンし、水泳世界選手権で背泳ぎ金メダリストの徐嘉余(シュジャーユ)選手と新商品発売イベントを実施致しました。また、2018年2月にSIXPAD事業のイギリス展開の本格化を目的に連結子会社MTG UK CO. LTD.を設立致しました。

#### (Styleブランド)

2017年10月に新商品「Style BX」、2018年3月に新商品「Style Dr. CHAIR Plus」、2018年5月に新商品「Style MEDICAL PRO」を発売致しました。また、2017年11月に「プライムツリー赤池」、2017年12月に「グランツリー武蔵小杉」でStyleブランドの直営専門店舗をオープン致しました。海外においては、2017年11月に中国上海の「上海METRO CITY」にて、Styleブランドの中国初の旗艦店「Style 上海メトロシティ」をオープン致しました。

## (PAOブランド)

継続したTVCMの放映や国内のTV番組に取り上げられたことにより、ブランドの露出回数が増加致しました。また、韓国販売代理店のPAOブランドアンバサダーに、アーティストであるPSY(サイ)氏が就任致しました。当アーティスト出演の動画を公開したことにより、アジア地区における顧客への認知度向上に繋がりました。

## (Kiralabrand)

2017年10月に「ロフト名古屋」、2017年11月に「プライムツリー赤池」、2017年12月に「グランツリー武蔵小杉」でKiralabrandの直営専門店をオープン致しました。また、2018年4月に東京拠点を開設し、さらに関西においても多数の展示会に出展し家族客を中心にKiralabrandの認知度向上に努めました。

## (その他のブランド)

「TAIKAN STREAM」のブランドが、日本スポーツ用品実行委員会が主催する「日本スポーツ用品大賞2017」を受賞致しました。

## (その他)

2017年11月にM&Aを実施し、ミチノ製薬株式会社(現株式会社MTGメディカル)の株式を100%取得致しました。当会社は第二種医療機器製造販売業及び第二種医薬品製造販売業の許可を有しており、当社グループの今後の事業展開に寄与する予定です。

また、事業の急成長に伴う従業員増加と規模拡大のため、本社新社屋用建設予定地として、すでに愛知県名古屋市熱田区に位置する16,298.30㎡の土地を取得しておりましたが、2017年10月にその隣に位置する5,415.77㎡の土地を追加取得致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は43,499百万円となりました。また、営業利益は7,051百万円、経常利益は7,389百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,779百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては45,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,815百万円増加しました。これは主に商品及び製品の増加4,407百万円、受取手形及び売掛金3,303百万円及び土地の増加3,728百万円によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては24,664百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,069百万円増加しました。これは主に短期借入金の増加5,494百万円及び長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の増加2,670百万円によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては21,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,746百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,779万円による利益剰余金の増加4,757百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月10日の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,215	3,846
受取手形及び売掛金	6,228	9,532
商品及び製品	6,267	10,674
原材料及び貯蔵品	1,240	1,713
前払費用	1,014	1,784
繰延税金資産	805	827
その他	978	1,054
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	21,743	29,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,114	1,341
土地	8,496	12,224
その他(純額)	1,174	883
有形固定資産合計	10,784	14,450
無形固定資産		
のれん	338	301
その他	400	429
無形固定資産合計	738	731
投資その他の資産		
投資有価証券	295	612
長期前払費用	167	238
その他	299	387
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	759	1,235
固定資産合計	12,282	16,416
資産合計	34,026	45,841

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,673	4,904
短期借入金	5,300	10,794
1年内返済予定の長期借入金	399	3,133
未払金	3,667	2,032
未払法人税等	1,052	1,797
賞与引当金	387	278
訴訟損失引当金	307	—
その他の引当金	324	295
その他	1,317	1,408
流動負債合計	17,430	24,645
固定負債		
長期借入金	63	—
その他	101	18
固定負債合計	164	18
負債合計	17,594	24,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,128	2,128
利益剰余金	14,213	18,971
自己株式	△40	△40
株主資本合計	16,402	21,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	47
為替換算調整勘定	△6	△34
その他の包括利益累計額合計	24	13
新株予約権	4	4
純資産合計	16,431	21,177
負債純資産合計	34,026	45,841



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)
売上高	43,499
売上原価	15,725
売上総利益	27,773
返品調整引当金戻入額	126
返品調整引当金繰入額	137
差引売上総利益	27,762
販売費及び一般管理費	20,711
営業利益	7,051
営業外収益	
受取利息及び配当金	2
受取地代家賃	145
権利金収入	180
訴訟損失引当金戻入額	101
その他	35
営業外収益合計	466
営業外費用	
支払利息	17
持分法による投資損失	38
為替差損	70
その他	2
営業外費用合計	128
経常利益	7,389
特別損失	
固定資産除却損	28
特別損失合計	28
税金等調整前四半期純利益	7,361
法人税等	2,581
四半期純利益	4,779
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,779

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	4,779
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	16
為替換算調整勘定	△27
その他の包括利益合計	△11
四半期包括利益	4,767
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	4,767

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、ミチノ製薬株式会社（現株式会社MTGメディカル）の株式を100%取得したため、連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間において、株式会社MTG modeliste、MTG UK CO. LTD. 及びMTG EUROPE B.V.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、MTG FRANCE SASを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、ミチノ製薬株式会社（現株式会社MTGメディカル）、株式会社MTG modeliste、MTG UK CO. LTD.、MTG EUROPE B.V. 及びMTG FRANCE SASは特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2017年10月1日 至 2018年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 2	四半期連結財務諸表計上額 (注) 3
	グローバル事業	リテールマーケティング事業	ダイレクトマーケティング事業	ブランドストア事業	プロフェッショナル事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高									
外部顧客への売上高	15,016	9,014	7,856	5,965	4,669	977	43,499	—	43,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	15,016	9,014	7,856	5,965	4,669	977	43,499	—	43,499
セグメント利益又は損失(△)	2,714	2,776	3,224	1,523	470	△1,220	9,489	△2,100	7,389

(注) 1. 「その他事業」は、ウォーターサーバー事業、中古自動車販売事業、スマートリングの製造販売を行うIoT事業及びOEM事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,100百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,100百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費となります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (公募による新株の発行及び自己株式の処分)

当社は、2018年7月10日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場致しました。上場に当たり、2018年5月29日及び2018年6月21日開催の取締役会において、以下のとおり新株式の発行及び自己株式の処分を決議し、2018年7月9日に払込が完了致しました。

この結果、資本金は13,779百万円、発行済株式総数は38,645,000株となっております。

## 1. 公募による新株の発行

(1) 募集方法 一般募集(ブックビルディング方式による募集)

(2) 発行する株式の種類及び数 普通株式5,045,000株

(3) 発行価格 1株につき5,800円

(4) 引受価額 1株につき5,423円

この金額は、当社が引受人より1株当たりの払込金として受け取った金額であります。

なお、発行価格と引受価額の差額は、引受人の手取金となります。

(5) 資本組入額 1株につき2,711.5円

(6) 発行価格の総額 29,261百万円

(7) 引受価額の総額 27,359百万円

(8) 資本組入額の総額 13,679百万円

(9) 払込期日 2018年7月9日

## 2. 自己株式の処分

(1) 募集方法 一般募集(ブックビルディング方式による募集)

(2) 処分する株式の種類及び数 普通株式855,000株

(3) 処分価格 1株につき5,800円

(4) 引受価額 1株につき5,423円

この金額は、当社が引受人より1株当たりの払込金として受け取った金額であります。

なお、発行価格と引受価額の差額は、引受人の手取金となります。

(5) 処分価格の総額 4,959百万円

(6) 引受価額の総額 4,636百万円

(7) 払込期日 2018年7月9日

## 3. 資金の使途

新商品開発及び品質改善のための研究開発費、国内外の事業拡大を図るための運転資金(広告宣伝費、人件費等)及び借入金の返済に充当する予定であります。

## (第三者割当による新株の発行)

当社は、2018年5月29日及び2018年6月21日開催の取締役会において、野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し(貸株人から借入れる当社普通株式1,035,000株の売出し)に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、2018年8月7日に払込が完了致しました。

この結果、資本金は16,585百万円、発行済株式総数は39,680,000株となっております。

(1) 発行する株式数 普通株式1,035,000株

(2) 割当価格 1株につき5,423円

(3) 資本組入額 1株につき2,711.5円

(4) 割当価格の総額 5,612百万円

(5) 資本組入額の総額 2,806百万円

(6) 払込期日 2018年8月7日

(7) 割当先 野村証券株式会社

(8) 資金の使途 上記「公募による新株の発行及び自己株式の処分 3. 資金の使途」と同様であります。